

## 第4回日本医師会 Junior Doctors Network セミナー報告書

平成 28 年 02 月 20 日

JDN セミナー 担当：淀川キリスト教病院 柴田綾子

1. 名称： 若手医師で 20 年後の医療を考える～保健医療 2035～
2. 日程： 日本プライマリ・ケア連合学会 若手医師のための家庭医療学冬期セミナー  
2016 年 2 月 20 日（土） 13:00- 1430
3. 場 所： 東京大学 本郷キャンパス
4. 目 的： 若手医師が日本の保健医療政策の現状を学ぶ  
保健医療政策におけるプライマリ・ケアの位置付けを学ぶ  
医師として国の保健政策にどのように参画できるか考える
5. 講師
  - ・ 浜松医科大学地域家庭医療学講座 井上真智子先生
  - ・ 厚生労働省大臣官房国際課 江副 聡 先生

### 6. 開催報告

これからの日本の医療のために、私達若手医師はどのように保健医療に参画できるのでしょうか？ この問いに対し、全国から約 50 名の若手医師が集まり、「臨床の現場で私達ができること」を考えました。

セミナーでは、保健医療 2035 の策定メンバーである厚生労働省大臣官房国際課 江副 聡先生と浜松医科大学地域家庭医療学講座 井上真智子先生をお招きし、日本の保健医療政策の現状と今後の課題についてレクチャーを通じて学びました。

そして若手医師として、プライマリ・ケア医として「臨床の現場で出来ること」をスモールグループディスカッションで話し合うことで「保健医療政策を自分達の臨床現場に落とし込んで」考えました。

保健医療 2035 の 3 つのビジョンを元に 9 つのグループに分かれ「保健医療政策に関する現場の課題」や「臨床の現場で出来ること」に関して活発なディスカッションが交わされました。

本日集まったアイデアは、Facebook 等の SNS で共有するとともに、政策提言できるような形を創ることを目標にまとめていく予定です。

日本では急激な少子高齢化に伴う人口構造の変化や医療技術の発達など、医療をとりまく環境変化に適応させて、日本の保健医療システムをどのように創っていくのかが大きな課題になっています。

Junior Doctors Network (JDN) では、医師として国の保健医療政策に関心を持ち、臨床現場で出来ることを考えることで、これからの日本の医療に主体的に参加できる若手医師の育成を継続的に行っていきたいと思います。

これからも Junior Doctors Network の活動へのご助言・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

ワークショップ中の写真

